

令和3年度冬期企画展

紀北の古墳群／紀中・紀南の単独墳

箱式石棺  
からみた  
紀伊の古墳

INBEMAKEYAMA 87

YAMASAKIYAMA 8-11

MARUYAMA-KOFUN

MAEYAMA-A 75

KASEBARA-SITE 934

OOTANIYAMA 39

MAEYAMA-A 100

2022年1月15日(土) ▶▶▶ 2月27日(日)

■入館料 一般190円(150円) / 大学生90円(70円)

( ) 内は20名以上の団体料金  
※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料(要証明書)

■開館時間 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

■休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合は次の平日)

和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋 1411 TEL 073-471-6123 FAX 073-471-6120  
HP / www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp Email / kofun@kiifudoki.wakayama-c.ed.jp



ホームページ

紀中の大円墳  
「湯浅天神山古墳」の  
石棺を展示!!

## 令和3年度冬期企画展

# 箱式石棺からみた 紀伊の古墳

紀北の古墳群／紀中・紀南の単独墳

1 会 期 令和4年1月15日(土)～令和4年2月27日(日)

2 会 場 和歌山県立紀伊風土記の丘資料館 企画展示室

### 3 趣 旨

古墳という墓が多く作られた古墳時代、当時は現在よりも墓への“こだわり”が認められました。墓の形や石室の作り方、葬られた人を納める棺の種類、武器や道具、装身具といった物を供える副葬について、厳格な決まりごとや多くの地域差があったのです。

その中で紀伊では、“箱式石棺”と呼ばれる板石を組み合わせ箱形に作った棺が古墳時代を通じて使われました。箱式石棺は棺を地面に直接埋めたものであるため、横穴式石室のように盗掘されることなく、葬られた当時の姿で発見されます。このため、葬られた遺骸や中に供えられた物の配置がわかります。また、木を組み合わせる木棺は木材が土の中で腐朽しますが、石棺の石は残ることから棺の構造がよくわかります。

今回の企画展ではこの箱式石棺に葬られた人々がどのような人物であったのか、岩橋千塚古墳群をはじめとした紀北の古墳群と、紀南・紀中に築かれた単独墳との比較を行いたいと思います。初公開の湯浅天神山古墳の箱式石棺など実物資料を展示し、箱式石棺から紀伊の古墳時代の特徴に迫ります。

### 4 展示構成

#### 第1章 箱式石棺とは

- ・石を使って棺を作る ～箱式石棺の形と構造～
- ・古墳時代人との背比べ

#### 第2章 紀北の古墳群 箱式石棺に葬られた人々

- ・箱式石棺からみた岩橋千塚
- ・石棺の組み方でなにがわかるか
- ・横穴式石室に入れない人

#### 第3章 紀中・紀南の単独墳 運ばれた石棺材と交流

- ・石棺が運ばれてきた？
- ・田辺湾周辺の石棺

#### 第4章 箱式石棺のはじまりとおわり

- ・いつから作られた？いつまで作られた？
- ・横穴式石室でも使われた！

おわりに 箱式石棺からみた紀伊の古墳

### 関連イベント

#### 展示講座④冬期企画展講座箱式石棺

2月6日(日) 13:30～15:30

内容：展示解説と講座

定員：30名(先着順・電話申込)

参加費：資料代100円及び入館料

申込受付：1月21日(金) 13:00～

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定を変更する場合があります。



前山 A17号墳の箱式石棺と出土遺物(明治40年(1907) 大野雲外発掘)